



自転車の日

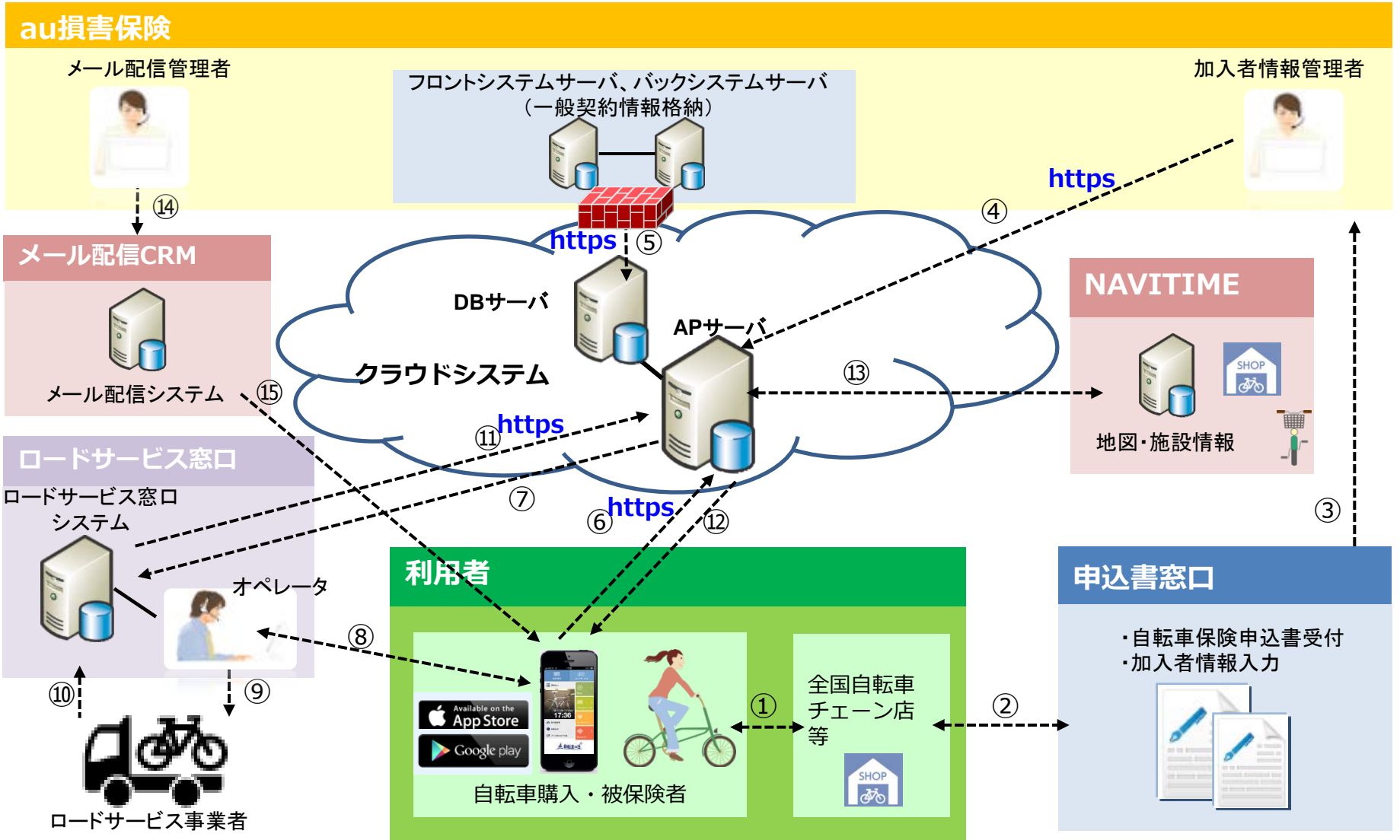


【応募システムの概要】

「自転車の日」は、自転車の価値が見直される中、自転車を取り巻く様々な状況を変えていくために、企画・開発したスマートフォンアプリです。

・本アプリでは、自転車を利用する多くの方にご利用いただける機能を盛り込みつつ、日本初の「自転車ロードサービスの要請機能」の実装、サーバー等の基盤のクラウド化などを行いました。

応募システムの全体像 (1/2)



応募システムの全体像

(2/2)

● 全体像（図）内の各要素は以下のやり取りを行います。（以下の項番は図内の番号に対応しています）

- ①申込書記入
店頭でお客様がサービスパックの申込書を記入します
- ②申込書回収
記入済み申込書を、定期的に特定フローに沿って回収します
- ③申込書情報納品
申込書の内容を、**CSV形式に変更したデータと、申込書画像に変換**
- ④申込書情報登録
④で納品されたCSVデータを、管理画面からAPサーバに取込みます。
管理画面は**視覚的で操作しやすいデザイン**としています。
- ⑤保険加入者情報DB連携
一般契約情報格納のバックシステムサーバから、契約情報を取得します
また、その際セキュリティを確保すべく、経路はhttps暗号化、保存データも暗号化し、拡張FWを設置しています。
- ⑥ロードサービス要請依頼
本アプリを使用し要請依頼を出すと、**保険者情報（自動取得）・現在地情報（GPS）・要請内容をAPサーバへ送信**します
- ⑦ロードサービス要請
⑥で通知された要請内容をロードサービスのサーバへ送信します
- ⑧ロードサービス利用最終確認（電話）
⑦を確認したオペレーターからユーザへ電話確認がかかります
- ⑨ロードサービス業者手配
オペレータ状況確認後、配車の手配を実施します。
- ⑩救援車両位置情報取得（GPS）
GPSが搭載されている救援車両の場合、定期的にロードサービスのサーバに車両位置情報が送られます
- ⑪ロードサービス業者手配状況取得
定期的に、ロードサービスのサーバからDBサーバに、**救援車両の位置情報、手配状況**が送られます
- ⑫ロードサービス 救援車両位置、到着予定時刻配信
DBサーバで取得した情報により、**ユーザはアプリ上の地図で車両位置の確認が可能**です。また、到着予定時刻の表示や到着前ポップアップ等により、**ユーザに安心感を与えるUI**としています
- ⑬地図・施設情報取得
NAVITIME社のDBと連携し、地図機能を組み込んでいます。
自転車に係わる施設情報も表示可能です
- ⑭メール配信設定
アプリの利用者登録（任意）をしている方に向けて、管理画面から新規保険のご案内やキャンペーン等のお知らせを配信する設定をします
- ⑮メール配信
⑭で**設定した日時・内容に合わせて**、ユーザに**メールが配信**されます



技術（1/2）

最先端技術へのチャレンジ・先進性／独創的な工夫

- 最先端技術へのチャレンジ・先進性、または、独創的な工夫
 - － 「GPSを利用した自転車ロードサービス要請機能」開発

- 自転車ロードサービスを、**アプリから要請**する機能開発にチャレンジしました。既に、自動車のロードサービスをスマートフォンから要請するアプリはありますが、自転車ロードサービスは他にはありません。自転車ロードサービスの要請も**自動車と同等の機能**、且つ、**シンプルなユーザーインターフェース**を目指して開発しました。



具体的に工夫した点は以下になります。

①要請時は必要な情報をアプリ上で入力するインターフェース

→電話でなくアプリ上で入力して要請することで、正確に被害状況や保険情報をロードサービス窓口へ伝えられます。
また、ロードサービス窓口側も、利用者へ電話で確認する内容が減る為、スムーズにロードサービス業者の手配を進められます。

②保険者情報は保険加入者情報DBと連携して自動入力

→一度ログインをした後は保険者情報を自動入力とすることで、手入力による利用者の負荷を減らし、入力ミス防止を実現しています。
また、手入力での修正も可能なインターフェースとし、万が一保険者情報を変更し忘れていた場合でも、登録情報を任意に変更できるようにしています。

③GPS情報を活用し、現在地と救援車の位置を地図上表示、到着5分前アラートを実装

→救援車が確実に近付いていることを視覚的に確認出来る為、ユーザは安心感を持てます。
実際にレスキュー業者に車を動かしてもらい、何度も実車テストを重ねました。

技術 (2/2)

最先端技術へのチャレンジ・先進性／独創的な工夫

－ 加速度センサーとGPSによる抽選券配信の新手法

協賛する自転車イベント等で使用出来る、**加速度センサーとGPSの技術を応用した抽選券配信機能**を搭載しました。例えば、開催会場でスマートフォンをふると、イベントブースで使える抽選券が配布されます。

アプリダウンロード促進、イベントブース来場者増等様々な目的を持った多イベントで使用することが出来ます。



－ ユーザーの利用シーンに合わせた機能と情報提供

自転車に乗る前には、万が一の盗難に備え、**自転車の特徴・犯登録番号・車体番号が登録できる「My自転車」**やお住まいの地域独自の自転車ルールも調べることが出来、**規則を紹介する「ルールとマナー」**。

自転車に乗る時には、**最寄り施設を簡単検索できる「施設検索」**や、回線が繋がらない**非通信状態でも閲覧可能な盗難・事故等に対処できるマニュアル「困ったとき！」**。

自転車ユーザーはもちろん、保険未加入の方でも便利に利用できるUIと機能を搭載しました。

● 使用した先進的な要素技術

－ レスキュー業者のマップ上での接近状況の表示について

条件設定で対象外エリアの判定が必要で、マップ上に半径20Kmの円を表示する必要があり、地図の縮尺を程よい大きさになるように、**表示時に随時自動調整する仕様**としました。

－ 使っていて心地よいユーザー目線のホーム画面

- 常に**新鮮なイメージ**を表現するために、ホーム画面のメイン画像は「My自転車」に登録された**自転車画像をランダムで表示**するように実装しました。
- 他に事例がない、**ホーム画面の上にサブメニューを上重ねる新しいデザイン**は、デザイナーのアイデアから実装しました。

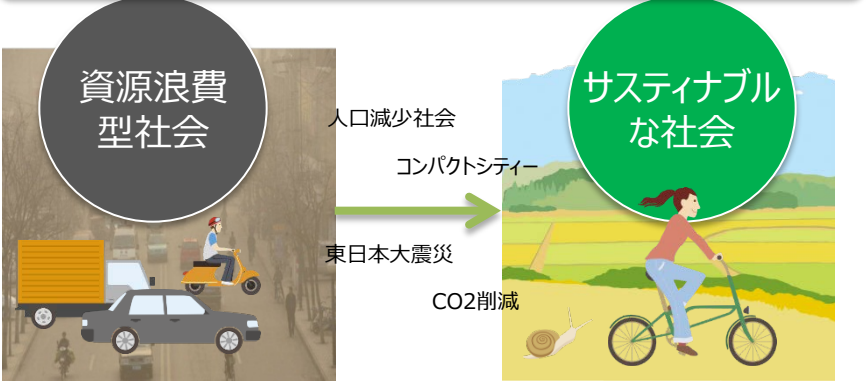


B

提供価値 (1/3)

人々の「暮らし」をかえた (かえる) / 会社の「シゴト」をかえた (かえる)

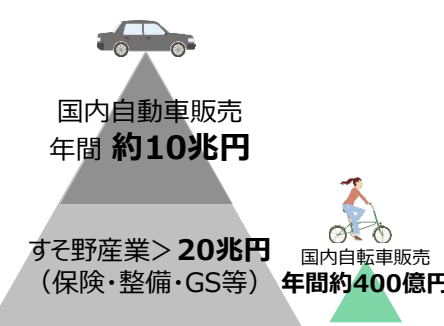
震災後のエコ意識の高まり、コンパクトシティ化等を背景によりクローズアップされる自転車の価値



自転車は自動車の普及台数に匹敵するが、産業規模が小さく、また、道路整備や交通ルールの徹底などで多くの課題も...

市場規模は圧倒的な差

普及台数は自動車に匹敵



一方、自転車に関する数多くの課題

- ▲ 交通ルールの徹底不足
- ▲ 道路環境の整備 (自動車・歩行者との分離)
- ▲ 駐輪場・充電設備
- ▲ 自転車事故の増加と加害事故の高額賠償判例
- ▲ 普及が進まない自転車向け保険

自転車に関わる方から話を聞くと、それぞれ異なる課題や問題点があり、連携・共有がなかなか進まず……。また、au損保としても自転車保険を提供する以上、より良い商品・サービス、リスク情報の提供を行うことが必要。



提供価値 (2/3)

人々の「暮らし」をかえた (かえる) / 会社の「シゴト」をかえた (かえる)

自転車を利用される方に便利な機能満載の無料アプリ



自転車安全情報の周知

一般的な保険の情報や、大人から子供まで理解が深まるアニメ



全国共通ルールに加え
47都道府県別の
ルール情報掲載



自転車利用者向けの便利な機能



- ①防犯登録番号の記録 (My自転車)
- ②保険付き付帯サービスの保険照合 (提携サービス)
- ③地域のショップ情報への誘導 (自転車ショップ検索)
- ④au 損保が行う定期的な自転車保険情報の提供

自転車保険のサービス向上



自転車ロードサービスのGPS呼び出し機能の提供
契約中の保険の情報を簡単に確認可能

自転車サービスのおトク情報や
毎日のニュース配信



提供価値 (3/3)

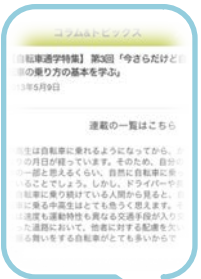
人々の「暮らし」をかえた (かえる) / 会社の「シゴト」をかえた (かえる)

**スマートフォンアプリ「自転車の日」を通じて、自転車を利用するすべての方が、
自転車を安全に利用し、そして事故がない (起こさない) 社会を目指します**

コラム&トピックス

自転車ロードサービス

誰も教えてくれない?
自転車の常識をしる
自転車の怖さを知る



急な自転車の故障!
どこにいてもすぐに
かけつけてくれる

保険の各種情報



自転車の保険に
関する情報がすぐわかる!
保険の加入状況もわかる!

カンタン手続きで
保険に入る

あんしん

あんしん

DLE製作の「こぐまのマナー教室」で
子どもと一緒にルールを学ぶ



©DLE

自転車、歩行者、自動車
みんなにとっての安心

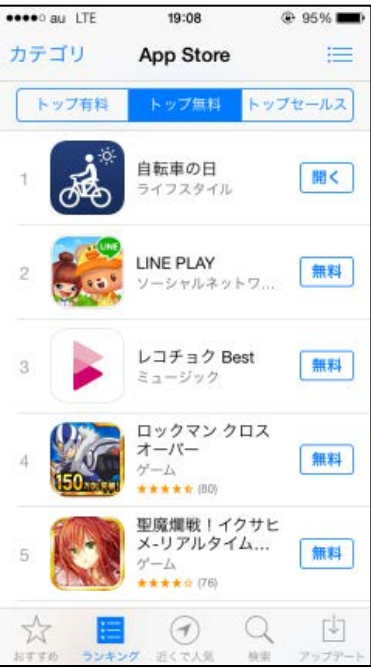


マーケティングで作る社会の安心・安全

D・E

報道・評価 その他のアピール・ポイント

●AppStore総合ランキング (2013/11/27)



- 報道
 - ネットメディア
 - au損保から、自転車事故撲滅アプリ「自転車の日」(ケータイWATCH)
 - au損保のスマホ用アプリ「自転車の日」無料提供を開始(シクロワイヤード)
 - au損保の自転車アプリ「自転車の日」リリース(Cycling EX)
 - 自転車ライフに役立つ機能満載 スマートフォンアプリ「自転車の日」をレビュー(Cyclist byサンスポ.com)
 - “新ルール”を伝えて事故を抑止 スマホアプリ「自転車の日」がもたらす安心・便利(Cyclist byサンスポ.com)
 - 『自転車の日』快適な自転車ライフをサポートする自転車ユーザーのためのアプリが登場!(Apps!)
 - 快適な自転車ライフをスマホとともに♪ お役立ち無料アプリ「自転車の日」に注目(マイナビウーマン)
 - 新聞・雑誌
 - au損害保険 スマホアプリ「自転車の日」がもたらす安心・便利(Sankei.biz)

●ケータイWATCH (2013/10/15)



- 第三者評価
 - App Store
 - **総合ランキング1位** (2013年11月27日付)
 - **ライフスタイルランキング1位** (2013年11月27日付)



アプリダウンロード数は2013年度末で約22万件に!


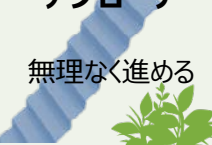
●SankeiBiz (2013/12/25)



■新ルール伝えて自転車事故を抑止

au損害保険(以下、au損保)が今年10月にスタートさせた保険商品の新ブランド「あーらう」の中で、特に自転車保険としてんやByeole(バイケル)が注目を集めている。スポーツタイプの自転車の普及に伴い、専用保険のニーズが高まる中、トラブル時のロードサービスといったこれまでにない、サイクル志向の補償や、スマホアプリを最大限に活用したサービスが高評価のポイントだ。そのサービスの狙いについて、ご夫妻で自転車ショップを営む1人1人元日本では日本の益子徳美さんが、au損保の保険専務取締役役にご話を聞いた。

アピール・ポイントのまとめ

| A. 技術 | B. ビジネス性 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ☑ 自転車ロードサービス、要請機能開発 (わかりやすいU/I、GPS、加入者DBとの連携) ☑ 加速度センサーとGPSによる抽選権配信の新手法 ☑ ユーザの利用シーンに合わせた機能と情報提供 (「ルールとマナー」「困ったとき!」「NEWS」「コラム&トピックス」) | <ul style="list-style-type: none"> ☑ 大きなPR効果:「自転車の日」アプリのダウンロード(22万人)により自転車保険について大きなPR効果 ☑ コスト削減: DM廃止等で年7200万円相当のコスト削減 |
| C. 提供価値 | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 30%;">  <p>自転車をめぐる3課題</p> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ♥ ルール&マナーの浸透 🚗 事故の増加/低調な保険加入 🚦 道路環境・駐輪場の整備 </div> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>ソーシャル マーケティング アプローチ</p>  <p>無理なく進める</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>実現しようとしている価値</p> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ♥ 自転車・歩行者・自動車に安心な社会づくり 💰 エコシステム=自転車が商売になる仕組みづくり 🚗 万々に備えた補償=保険の普及 </div> <p>保険会社としての役割</p> </div> </div> | |
| D. 利用者の評価 | E. その他 |
| <ul style="list-style-type: none"> ☑ 自転車ユーザー:「こまった」時に使えるアプリ ☑ 自転車販売店:付加価値の向上・価格維持 | <ul style="list-style-type: none"> ☑ 保険加入率が低い状況での自転車事故増加は社会的問題です。ソーシャル・マーケティングに基づく柔軟いアプローチで問題の解決に貢献したいと考えています。 ☑ 報道: ネットメディアを中心に多数の報道を頂いています |